

水天作

通巻 第29号



拜殿 格天井「栗」

ご挨拶

宮司 竹間 宗麿

今年の夏は日差しが少なく所謂夏日が感じられない、異様な夏でした。

間もなく当社の重儀おくんちを迎えます。

「実りの秋」と申しますが今年には、さぞかしご心配な事と只、雨風時に順いて、豊かなる実りを迎えられる事とお祈りする次第でございます。

さて、いよいよ「高良大社ご社殿のお屋根替え」を明年に控えその諸準備も本格化してまいります。

仮の御殿にお遷り戴く仮遷座祭に伴い、明年の夏には境内には仮の御殿の建設がございます。

世の中の経済状況等逼迫の中、この大きな祭儀・事業を行うことは目に見えて厳しいことが予想されます。しかし祈り伝えてきた高良山の伝統、郷土の文化財たるご社殿を地域皆様のお力添えを賜り、子々孫々に伝えて行くべく進めて参ります。御崇敬の皆様には何とぞご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

高良山くんち日程



御井町風流

高良山くんち(おくんち)は高良大社の年間祭事の中で最も大きなお祭りです。十月九日の例大祭に始まり、十日の崇敬会大祭、十一日の観月祭まで、例年三日間の日程で行われます。

おくんちの期間中には久留米喜多流の謡曲や高良山十景舞、表千家不白流による献茶式、さらに観月祭の催事まで含めると実に多くの奉納行事があります。また、おくんち期間の前後には神賑行事として、剣道大会、さつき盆裁展、生け花展、各種武道の演武や獅子舞、風流、民謡、和太鼓、鼓舞、また小

笠原流弓馬術同門会による弓道百々手式と弓道大会などがおくんちを奉祝して行われます。

高良山くんちの「くんち」とは、「おくんち(御九日)」の訛りで、かつては旧暦九月九日に行われていたお祭りです。おくんちは、秋の収穫を祝う秋祭りとして、我が国で古くから祝日とされてきた重陽の節句と結びついたお祭りであり、また高良大社にとってこの日は、神様が御鎮座されたと伝わる吉日です。高良山で秋の大祭といえ、古くは旧暦の十月に行われていた御神幸祭でしたが、大規模すぎて途絶えがちになり、江戸時代には時期的に近い旧暦の九月九日のおくんちが例祭となったといわれています。当時はこの日に藩主である有馬家の代参が行われ、農具市が立ち多くの参詣者で賑わい、家々では自慢の秋の味覚「カマスズシ」をつくって酒宴を催してもてなす習わしがありました。

長い歴史の中で様々な変遷を辿り、今に受け継がれる高良山くんち。一年間の神様のお守り、お恵みに感謝し、祈りを捧げ、この伝統を後世に語り伝えていきたいものです。

くんち日程

* 十月九日(木)

神生祭 午前零時
例大祭 午前十時三十分
謡曲奉納 久留米喜多流奉賛会
舞奉納 高良山十景舞保存会



高良山十景舞

* 十月十日(金)

崇敬会大祭 午前十時三十分
献茶式・野点拝服席
表千家不白流九州支部



野点拝服席

* 十月十二日(土)

第二十四回 観月祭 午後六時

観月祭奉納行事

本殿

午後六時三十分～七時三十分
● 仕舞 久留米喜多流奉賛会
● 箏曲 中村雅楽美美社中
● 琵琶 筑前琵琶保存会
● 吟詠 錦城流 加藤城勲師



箏曲

境内特設舞台

午後七時四十分～九時
● 箏曲 生田流正派
● 久遠太鼓 立正佼成会久留米教会
● 久留米にわか 久留米にわか保存会
● 柳川日吉太鼓 日吉ぎんなん社中
● 柳川日吉神社 柳川日吉神社



小学生から高校生の剣士達が日頃の鍛練の成果を発揮し熱戦を繰り広げます

◆九月二十三日(火)
第十四回 高良山剣道大会
境内特設会場

神賑行事



久遠太鼓

●雅楽 高良大社雅楽同好会
●御茶席奉仕 表千家北村宗孝社中



嵯峨御流生け花展

◆十月九日(木)～十日(土)
第十五回 嵯峨御流生け花展
華道嵯峨御流諸岡社中
中門内展示場



さつき盆栽秋季展

◆九月二十六日(金)～二十八日(日)
第十五回 さつき盆栽秋季展
さつき盆栽趣味の会
中門内展示場



筑水高校太鼓同好会

◆十月十二日(日)
午前十時より
境内特設舞台

古武道棒術
神影流心気道棒術
獅子舞・風流
高良山同志会
御井町風流保存会
民謡奉納
日本民謡協会大川支部
空手奉納演武
新極真会佐賀筑後支部
久留米道場
和太鼓奉納
筑水高校太鼓同好会
鼓舞
御井鼓舞



日向ひよつとこ踊り

日向ひよつとこ踊り
ときめき会
境内特設舞台



福岡県及び近県より参加の老若男女による熱戦が繰り広げられます

◆十月十三日(月) 体育の日
第四十四回 高良山弓道大会
百々手式
境内特設会場

祭事のご案内

〔十月中旬〜十二月〕

◎**大学稻荷神社秋季大祭**

十月十六日

高良山中腹に鎮座する筑後地区で一番大きな稻荷社の秋祭り、大勢の参拝者参列のもと斎行されます。

◎**山川招魂社秋季大祭**

十月二十日

旧久留米領内出身者をはじめ祖国の為の戦死者の英霊をお祀りする山川招魂社にて秋季大祭が斎行されます。



山川招魂社

◎**明治祭**

十一月三日

我が国を近代化へと導かれた明治天皇の御聖徳を仰ぎ皇室国家の繁栄を祈念致します。

◎**撰末社例祭**

十一月十三日

境内に鎮座する三社、高良山内山外に鎮座する六社の例祭を斎行致します。

◎**七五三祝祭**

十一月十五日

月次祭に併せ、今年七五三祝を迎えるお子様の健やかな成長をお祈り致します。



七五三祝

◎**新嘗祭**

十一月二十三日

宮中および全国神社で行われる新穀感謝祭です。高良大社では、献米世話人のご協力により近郷各地から新米が奉納され、本年の豊かな稔りの感謝を申し上げます。



新嘗祭献米

◎**もみじ狩り**

十一月二十四日

高良山中腹の紅葉谷で行われる秋の恒例行事です。御井校区まちづくり振興会・高良山の森と環境を守る会が中心となり、催事を盛り上げ多くの方で賑わいます。

◎**鎮火祭**

十二月一日

日々の生活に不可欠な火の恵みに感謝し、同時に火による災いが無いように祈るお祭りです。祭典後は、消防署の指導の下、職員の消火訓練、救命訓練が実施されます。

◎**大学稻荷神社冬籠祭**

十二月八日

高良山中腹、大学稻荷神社の歳末の神事です。参拝者が祈念を込めた神木を御焚き上げし、その成就をお祈り致します。



冬籠祭

◎**煤払祭**

十二月二十二日

社殿での祭典後、宮司以下神職が笹箒にて社殿の煤を払い、新しい年を迎える準備を致します。



社殿煤払

◎**天長祭**

十二月二十三日

天皇陛下の御誕生日にあたり聖寿の萬歳、皇室の長久と国家の繁栄を祈念致します。

◎**古神札焼納祭**

十二月三十日

この一年お守りいただいた神札・お守りに感謝申し上げ焼納する神事です。

◎**年越大祓式・除夜祭**

十二月三十一日

大祓式は、日々の生活の中知らず識らずに犯した罪穢れを、人形に移して心身を祓い清める神事です。また今年最後の祭典である除夜祭とともに、佳き年を迎えられるように祈念致します。



第四十三回

高良山書道展

講評 審査委員長 諸石 祥雲(南筑高校書道教諭)先生

恒例の高良山書道展・書道上達祈願祭・表彰式が七月二十一日に行われました。七百二十一点の作品が寄せられ、諸石祥雲審査委員長以下五名の審査委員により各賞が選考されました。



高良大社宮司賞
小学六年
北原 積木

四文字のバランスをとりにくい字句を余白を上手に活かし、止めやはらいなどきらんと表現できた作品です。



高良大社崇敬会会長賞
中学三年
後藤 雪乃

筆脈がよく通り、流れるような文字表現が行書らしい柔らかさを表現している作品です。



福岡県知事賞
高校三年
堀江 華絵

濃墨を使い篆書の持つ重圧感を、かすれを活かした線で表現した大胆な作品です。歳鋒の筆遣いや終筆の筆のまとめ方も見事です。



福岡県議会議長賞
小学四年
江崎 楓

はねやはらいの筆遣いが丁寧で、文字がぶつからないよう「光」や「社」の横画の長さに気を配りながら構成された作品です。



久留米市長賞
小学一年
鶴 依菜世

太いせんで、ふでさをていねいにつかひのびのびと元きいっばいにかいたさくひんです。すがすがしいまつのみどりが見えてきますね。



久留米市長賞
小学五年
金山 美奈

線質がどっしりとしていて、中国唐時代の顔真卿の作品を思い出させるような作品です。伸び伸びとした縦線やはらいに個性がよく出ています。



久留米市議会議長賞
小学二年
田中 みほ

三文字のひらがなを丸みのある線であまくまとめた作品です。特にそれぞれの文字の中にあるはらいやはねが丁寧で筆先をうまくまとめています。



久留米市議会議長賞
中学一年
川村 祥悟

横画が多い漢字をバランスよく、間隔よくまとめた作品です。始筆、終筆がきちんとできていて、名前も堂々としています。



西日本新聞社賞
小学三年
下川 洋樹

ひらがなの曲線をおおらかに書き、止めやはらい点まで細心の注意をはらった作品です。一画一画のつながりやはらい、はねもうまく筆をまとめています。



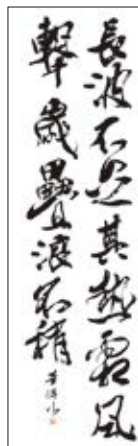
上海堂賞
中学二年
平田 杏

確かな技法と豊かな練習量がこの作品からうかがえます。行書らしい曲線の美しさと筆脈のつながり、筆のもつやわらかさを活かし、文字の美しさを表現しています。



硯山賞
一般
長崎 珠美

伸びやかな筆致と線の強さが印象的な面白い作品です。余白の美しさをうまく表現し、その余白と墨、印泥の朱が見事に調和した作品です。



審査委員長賞
高校二年
宮原 華保

やわらかい羊毛の筆を駆使し、太宗皇帝の温泉銘を臨書した作品です。ゆったりとした運筆の中にのびやかさや大胆さを表現しています。

高良大社賞

- 高一 大住さやか
- 高二 大淵悠里菜
- 高三 指原美侑
- 高一 鶴元葵
- 高二 永江咲好
- 高三 井上裕登
- 高一 中島卯咲
- 高二 江口真由
- 高三 中村晴葉
- 高一 吉富優希
- 高二 四ヶ所采奈
- 高一 志岐菜々
- 高一 谷川大揮
- 高二 服部みお
- 高三 江口ゆめ
- 高一 中島悠貴
- 高二 金子大喜
- 高三 江頭萌瞳
- 高一 古庄恵
- 高二 古賀こども
- 高三 江口菜央
- 高一 丸山あき奈

以上三十四名が上位各賞を受賞されました。

高良山の信仰 (七)

月

古来人々は月に対して、特別な思いを抱いてきました。

万葉集等国歌にも俳句にも多く詠まれ、お月見等、月を愛でたりしてまいりました。また暦も月の満ち欠けを元にした太陰暦に太陽暦要素を取り入れた太陰太陽暦が日本では明治五年まで用いられてきたのも農作業に有効であったことから月は古くから日本人には親しまれてきました。

さて高良大社と月の関わりですが、今より一八〇〇年も昔、仲哀天皇様の御代に異国の兵が九州へ来るとなった折にお妃の神功皇后様が筑前国四王子嶺にて天の神様にお祈りされたところ、住吉の神様が明星の光と共にご出現、更に月の光と共に高良の神様のご出現になられたとの伝説があります。

皆様のお家には家紋があるように神社にも神紋・社紋がありますが、当社の神紋「木瓜」は四方に開いた雲の中から月神高良の神様が光りを放ち出現なされるその瞬間を表していると伝えておられます。

ちなみに久留米市街から高良山を仰ぐと、丁度高良山上より月が昇るのです。単なる偶然とは思えず月神のお宮なればこそその感があります。当社で観月祭をお仕

えするのにも至極当然といえましよう。

さて話を戻しまして、時代は下り平安時代の末頃、後白河天皇様のお妃健春門院平滋子様が高良の神様のご本地(神様の本当の姿)は「勢至菩薩」であることを感得なさったと伝えます。勢至菩薩は「月天子」と同体とされ要するに「お月様」ということになります。

古来特定の日に集まり飲食をし寝ずに会話して月の出を待ち、月を拝む「月待ち」の信仰があります。室町時代には文献に出、江戸時代文化・文政の頃に流行しました。その中で旧暦二十三日の夜を「二十三夜」と言います。その日に拝むのが月と共にいつの頃からか勢至菩薩とされたことから月の佛様になりました。

神仏習合時代には高良山にも勢至菩薩が祀られておりました。月待ちとは他に十九日の夜を「十九夜様」として安産子育て等女人守護の信仰が強く女性を中心とした信仰が見られます。そして、もとも一般的なのは皆様ご存じの中秋の名月の「十五夜」と「十三夜」です。

このように「お月さん」と親しんでまいりました月の信仰は現在でも生き続けており、皆様も秋の夜長に月を拝し思いを馳せてみては如何でしょうか。

権禰宜 松本 長人

祭事の報告 (六月〜九月)

◆川渡祭 六月一日・二日

早朝山麓の朝妻の清水で禊を仕えた老若男女が、山上をめざし、最後の百三十段の石段を威勢よく駆け上ると、多くの参拝者から拍手によって迎えられました。

宮司以下神職と共に茅の輪をくぐり抜け無病息災を祈りました。二日間にわたり還暦・厄年祓等の御祈願が多く、社頭賑わいました。



◆兼務社夏祭

七月に入り九月に至る迄山川・御井・高良内各校区の兼務社の夏祭があります。

子供神輿の神幸祭や氏子区域内の幣立て等各お社毎に様々なしきたりがあり、暑さ厳しき中、多くの氏子さん方の御参集の元

に担当神職がお仕えし、御神恩に感謝申し上げ氏子地域の疫病退散、息災安全を祈念申し上げます。

◆献灯祭 八月一日

高良さんの夏の夜の風物詩ともいえる献灯祭。この度、灯籠の修理並びに灯数を増数しました。社殿正面の本坂両側を始め、透塀周囲の提灯に明かりを灯すと幽玄な神域が広がります。高良会館上の鳥居型の献灯は遠くからも目にすることができ帰省の方々の言葉も戴いております。



◆味水御井神社夏祭 八月七日

山麓、朝妻の清水の守り神である別称「しつちやらごんげんさん」の夏祭が夕刻より朝妻東西自治会の皆様の御参列を戴き、湧き出でる泉の流れの音も清らかに神事をお仕え申し上げました。

高良大社崇敬会だより

平成二十六年事業の進捗状況について

平成二十六年事業の高良大社崇敬会事業につき進捗状況を御報告致します。

◆高良山マップに伴う看板作製

昨年度事業において、高良大社参拝、高良山散策の皆様に色々な登山ルートと山内の見どころを判り易く解説した山内案内マップを作成しました。本年度は、このルートマップに基づき実際の山内散策路に設置する案内誘導看板(道標)を作成しております。

◆本坂献灯粹修繕延長の補助

高良大社との協同事業により修繕及び新規延長工事を行い、新設二十四灯の火袋は、全て申込みを戴きました。



◆第四回企画研修旅行実施

二月十八日～十九日の日程にて、井手英会長以下七十七名の参加のもと、昨年度年遷宮が斎行された伊勢神宮の御垣内参拝をさせて戴きました。

◆年次総会の開催

三月四日に平成二十六年総会をホテルマリタール創世にて開催。講演会では、宮崎県高千穂神社宮司後藤俊彦先生の「伝統文化とわが国の再生」との御話を拝聴しました。

◆書道展・写真展への協賛

恒例の高良山書道展・写真展に対し「高良大社崇敬会会長賞」を授与協賛。

◆「第三回高良山写真展」

十月十八日～十一月二十四日に中門透塀特設展示場で開催予定

◆久留米つつじ原木手入れ

久留米市文化財である久留米つつじ原木の手入れ作業を施工。引き続き平成二十七年でも剪定作業等を行う予定です。

兼務神社合同総代会 御井校区当番にて開催される

高良大社の鎮まる高良山山麓の三校区(御井校区・山川校区・高良内校区)の兼務神社十六社の合同総代会が、去る八月二十九日に御井校区当番(高良下宮社・府中公民館)にて開催されました。

会議に於いて、各兼務神社相互の情報交換を行い、併せて高良大社の現況報告や平成二十九年に向けての重要な計画(御屋根替え・神幸祭)の大綱説明を行いました。向後、毎年輪番制で兼務神社合同総代会を開催することを確認し、次回(平成二十七年)は山川校区担当で開催することとなります。

第二十二回 戦没者慰霊平和祈念祭斎行

八月十五日、忠霊塔祭場に於いて、大東亜戦争で斃れた英霊を神籬にお招き申し上げ、第二十二回久留米戦没者慰霊平和祈念祭が斎行されました。

福岡県神社庁久留米支部、久留米市神社総代会、久留米市遺族連合会、立正佼成会久留米教会、日本会議県南支部が合同にて実行委員会を組織編成し、毎年斎行される慰霊神事です。

河北宣正委員長の式辞、慰霊祭斎行、正午には黙禱を捧げ、天皇陛下の御言葉を謹聴、一同今ある



幸せは尊い命を捧げられた英霊のお蔭であることに感謝の念を新たに致し、平和を祈りました。



忠霊塔

高良山通信

「平成の大修理」奉賛会設立の準備始まる

高良大社では明平成二十七年（度より（仮称）「平成の大修理」として四十年ぶりに国の重要文化財である御社殿（本殿・幣殿・拝殿）の御屋根葺き替え、中門・透塀の塗り替え、併せて齋館・授与所の改築を計画し、現在物心共々の支



援組織としての「奉賛会」の設立に向けての諸準備を進めております。

日頃、御崇敬を賜ります神社関係者また崇敬者各位に於かれましては、この旨御報告申し上げますと共に、向後更めて御協力を賜り度御願ひ申し上げますことと存じますが、何卒宜敷御高配に與りますようお願い申し上げます、社報の紙面をお借りして御報告傍御挨拶を申し上げます。

尚、この（仮称）「平成の大修理」の概要計画や途中報告は随時、また「社報たまたれ」バックナンバーにつきましても、高良大社公式ホームページで御覧戴けますので是非御利用下さい。



境内のたたすまい

◆浦安舞受講報告

八月十九日（八月二十一日、香椎宮にて行われた祭祀舞講習会を受講いたしました。

今回の講習では四人舞まで教えていただき、また本装束の着装と裾の捌き方まで習うことができました。

講習会で学んだことを祭典はもちろん、日々の御奉仕にて努めてまいります。

◆災害お見舞い

八月二十日の広島を始め豪雨による被害に会われました方々に心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧をお祈りいたします。

九月二十七日木曾御嶽山の噴火災害に対し被害を受けました皆様に心からお見舞いを申し上げます。

噴火が鎮静し御山の安泰をお祈り申し上げます。



鎮守の杜

虫の音が聞こえ朝晩涼しくなりました。

この夏は研修会に南に北へと行かせてもらいました。「神主さんの研修ってどんなの？」と思われることでしょう。神主として一番の基本であるお祭りの作法「祭式」や神社運営に関わる法律、歴史等色々ですが、今夏は祭式の大事に改めて気がつきました。

「もう何年も神主してるのだからお祭りの作法は大丈夫でしょう」と思ったら間違いなのです。

長年の内に「悪い癖」というものが出てきたりします。今回自分は「猫背」だったと知らされました。幾度も背中を教授に注意を受け、先生の熱いご指導により猫背も直りました。

そして「何故この作法なのか」「このような時にはこうすればよい」という事を伝授戴けたことが何より嬉しく収穫になったことです。

いつまでも修行中。生涯勉強と今後勤めてまいりたいと誓った夏でした。（長）

「たまたれ」 通巻二十九号

平成二十六年十月一日発行

発行者／高良大社社務所

福岡県久留米市御井町一番地

電話〇九四二一四三二四八九三

FAX〇九四二一四三二四九三六